

浅田 章

高16期
医師



「五綱領を基本として、王道を歩め」

生野高等学校生は、将来、人の役に立ってほしい。また、そのための能力を十分に持っている。

私は1961年（昭和36年）に生野高等学校に入学した。先生方、特に英語、日本史、漢文の先生は素晴らしかった。授業前に黒板にグラマー（grammar）とグラマー（glamor）、どちらが好きですか、と落書きをしたことも覚えている。部活は音楽部の混声四部合唱でバリトンを担当した。教員で部長の東保（あずま たもつ）先生はとても指導が厳しかった。少しでも音程が外れると、ひどく叱られた。関西二期会の公演でもドンジョバンニ役をこなす方だった。NHK合唱コンクールにも出場できた。今でもその課題曲を覚えている。趣味のギターを東先生の前で披露したところ、文化祭で「禁じられた遊び」弾いてみる、と言われた。今でもクラシックギターを続けている。東先生はプロの音楽家を養成された。一年先輩（15期）の島村武男氏は東京芸大卒で、ドイツで研鑽を積み、プロのバリトン歌手になった。主に東京で活躍されている。私が主宰した日本臨床麻酔学会（国立京都国際会館、2008年）の会長招宴（グランドプリンス京都）で久々に素晴らしい歌声を聴かせて頂いた。

生野高等学校から、大阪市立大学医学部教授を5名、輩出している。日本の医療・医学をリードする方ばかりである。五綱領に基づいて培われた校風は大学の教授になっても、生き続ける。また、五綱領により、知らず知らずのうちにバランス感覚も養われる。五綱領は座右の銘である。

■プロフィール

浅田 章（あさだ あきら 1945年5月17日生 満72歳）

医師

医学博士

大阪市立大学 名誉教授

1964年 大阪府立生野高等学校 卒業

1970年 大阪市立大学医学部 卒業

1970年 大阪厚生年金病院 医員（現 大阪病院 地域医療機能推進機構）

1974年 大阪市立大学 助手（麻酔科）

1988～1989年 客員教授 [ノースウエスタン大学（シカゴ、米国） 麻酔学教室]

1996年 大阪市立大学 教授

2001年 パリ大学 客員研究員

2011年 大阪市立大学 退職

2011年 相愛大学 教授（人間発達学部 発達栄養学科）

2014年 相愛大学 退職

これまでの公職経歴

公益社団法人 日本麻酔科学会 理事

日本学会会議 委員 [第7部（救急・麻酔・集中治療医学 研究連絡委員会）]

日本蘇生学会 理事・監事

日本蘇生学会 第23回大会 会長（大阪市立大学医学部学舎、大阪市）

第52回日本麻酔科学会関西支部学術集会 会長（大阪国際交流センター、大阪市）

日本局所麻酔学会 理事

日本局所麻酔学会 第19回大会 会長（大阪国際交流センター、大阪市）

日本臨床麻酔学会 理事

日本臨床麻酔学会 第28回大会 会長（国立京都国際会館、京都市）

日本臨床モニター学会 理事、

日本臨床モニター学会 第21回大会 会長（大阪国際交流センター、大阪市）

学会会員

公益社団法人 日本麻酔科学会（名誉会員）

日本臨床麻酔学会（名誉会員）

日本蘇生学会（名誉会員）

日本臨床モニター学会（理事）

日本笑い学会

癒しの環境研究会